

令和2年度 こども園評価について

朝来市立竹田こども園

A：達成している(80%以上) B：概ね達成している(70%以上) C：あまり達成していない(50%以上) D：達成していない(50%未満)

評価項目		評価	今後の改善について	自己評価の妥当性 (学校関係者評価の意見等)
園 運 営	1 保護者や外部に教育方針や活動内容をわかりやすく伝えている	A	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は新型コロナウイルス感染症対策で保護者の方や地域の方に来ていただくことが叶わなかった。園での子ども達の様子を園だよりやクラスだより、園児玄関に活動の写真を掲示しお知らせするように心がける。 ・コロナに関連して、子ども達もマスクの着用や手洗い、うがい、手指消毒などきめ細やかな衛生指導を行ったからか例年の流行性疾病は見られなかった。園での発熱時の対応も早めに連絡し迎えに来ていただいているため広がることもなかったように思う。 ・昨年度より朝来市教育研修所指定研修を受け、2年間職員の資質能力の向上を目指し園内研修の充実を図った。しかし職員で研修に対する温度差を感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関に園での様子がカラー写真でまとめてあり、日々楽しみにしていた。これからも続けていってほしい。 ・コロナ禍で、参観日も分散して行われたが、逆にゆとりをもって参観することができたと思う。オンラインで配信出来たらよいのかもしれないが、セキュリティ等は慎重に議論されなくてはいけない。 ・コロナに始まりコロナで終わった一年だった。マスクの着用、手洗いの徹底など、子ども達にとつて難しいことばかりだったと思う。結果としてはできており素晴らしいと感じた。
	2 保護者参観・行事・面談・園だより等開かれた園づくりをしている	A		
	3 P T Aや地域との連携を図り、特色ある教育活動に取り組んでいる	B		
	4 園児の健康の把握や健康管理等適切な指導や対応ができています	A		
	5 防災・不審者の危機管理等、安全指導に努めている	A		
	6 園内の環境美化に努め、施設・設備等の安全管理を適切に行っている	A		
	7 園運営に教職員の意見が反映されている	A		
	8 教職員の資質能力を高めるための研修を十分に行っている	B		
教 育 課 程	1 教育目標が自園の実態を把握し、園児や保護者のニーズにあった内容である	A	<ul style="list-style-type: none"> ・竹田地域独自のもの(竹田城跡、街並み、秋祭り等)を教育保育の内容に取り入れるよう努めた。『竹田の街』をテーマに各年齢でねらいをもち活動を進め、最終的には0歳児から5歳児まで、園全体で楽しむことができた。 ・園生活の関わりの中で異年齢で遊ぶ様子から、自然に小さい子に対する思いやりの心や、大きい子を見て学ぶ姿が見られる。各年齢の発達を保証しながら異年齢の活動も大事にしていきたい。 ・今年度職員間での園小連携の機会はあったものの交流や連携の類が実施できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・竹田の街に愛着をもっているように感じる。 ・異年齢同士のかかわり合いは、とても貴重な経験となっている。是非続けてほしい。 ・秋の運動会への参加は、ぜひ復活させてほしい。 ・コロナでいろいろな制約があったと思うが、竹田の地域性も活動に取り入れられていて良かった。
	2 園児の発達に即し、遊びを中心とした体験的な教育に取り組んでいる	A		
	3 生きる力の基礎を身につける指導・工夫をしている	A		
	4 心の教育・道徳性の芽生えを養う指導や工夫をしている	A		
	5 地域を活かした特色ある教育活動を行っている	A		
	6 幼(保)・小・地域等との交流や連携を行い、保育・教育活動に活かしている	B		
	7 指導計画・行事の作成にあたっては教職員で話し合っている	A		
保 育 活 動	1 身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に関心をもてるよう工夫している	A	<ul style="list-style-type: none"> ・指定研修のテーマに沿って、日々子どもの実態に合わせた関わり方を念頭に組み組んでいく。 ・子どもの発見や思いを丁寧に聞きとり、周りに広げていくことで、その子の自信に繋げたり全体の学びにも繋げたりしていく。 ・保健指導の話を月に1度、短い時間でも必ず行い、健康についての意識や態度を育んでいく。 ・次年度も野菜栽培を取り入れることで食への興味や関心を育てていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して、いろんな植物を育てる経験をさせてもらっていてありがたい。 ・親では気づかないところを、先生方ならではの視点で褒めていただいている子どもも自信がついているように感じる。 ・保健だよりの内容は、参考にさせてもらっている。
	2 園児一人一人の発達を明確にし、共に育ち合える保育になっている	A		
	3 生命を大切に作る心や、規範意識が芽生えるよう指導している	A		
	4 自分の思いを言葉等で伝え、相手の思いに気づく力や、伝え合う喜びを培っている	A		
	5 健康・安全に必要な習慣や態度が身につくよう取り組んでいる	A		
	6 絵本の読み聞かせをし、絵本に親しめる機会を作っている	A		